

大江町百目木地区かわまちづくりについて①

「百目木地区かわまちづくり」の基本方針

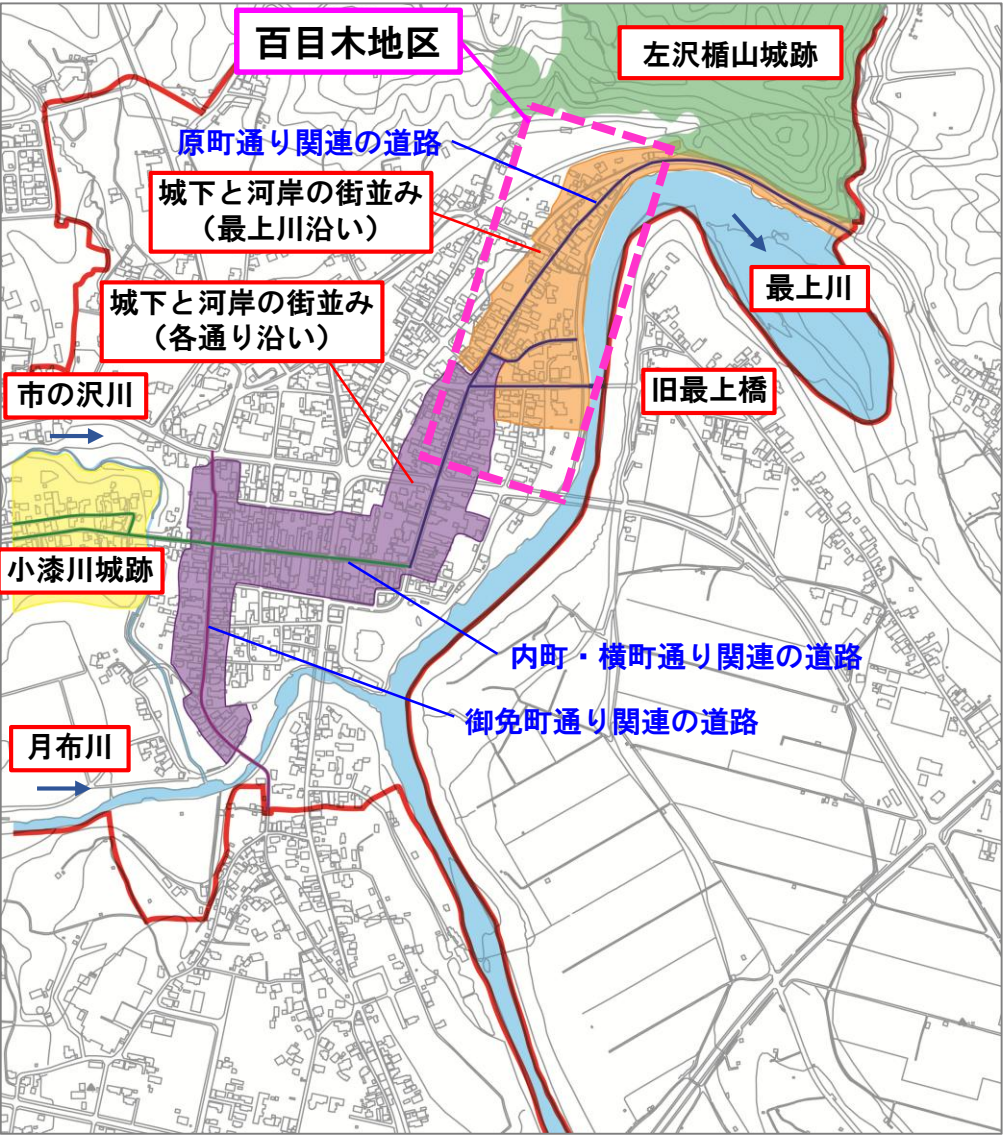
最上川舟運や百目木の暮らしに根差した重要文化的景観を継承しながら、住民や来訪者が集う花火大会などの地域の伝統行事を通して賑わいと交流を生み出す。また住民の水辺への誇りと愛着を育み、地域資源として未来へつなげる。

「百目木地区かわまちづくり」の目標

- 目標1：【水辺の賑わい創出】花火大会を核とした水辺の賑わい創出と地域交流の促進
- 目標2：【歴史・文化の継承と発信】左沢・百目木の歴史・文化を未来へつなぐ学びと体験
- 目標3：【広域ネットワークの構築】新たな川とのつながりを生み出す周遊動線の構築
- 目標4：【連携と活用】多様な連携による水辺空間の新たな活用と持続の体制構築

国選定重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」

【百目木地区の重要文化的景観の構成要素】



(基盤地図情報に河川情報等を追記)



左沢楯山城史跡公園
(日本一公園) からの眺望



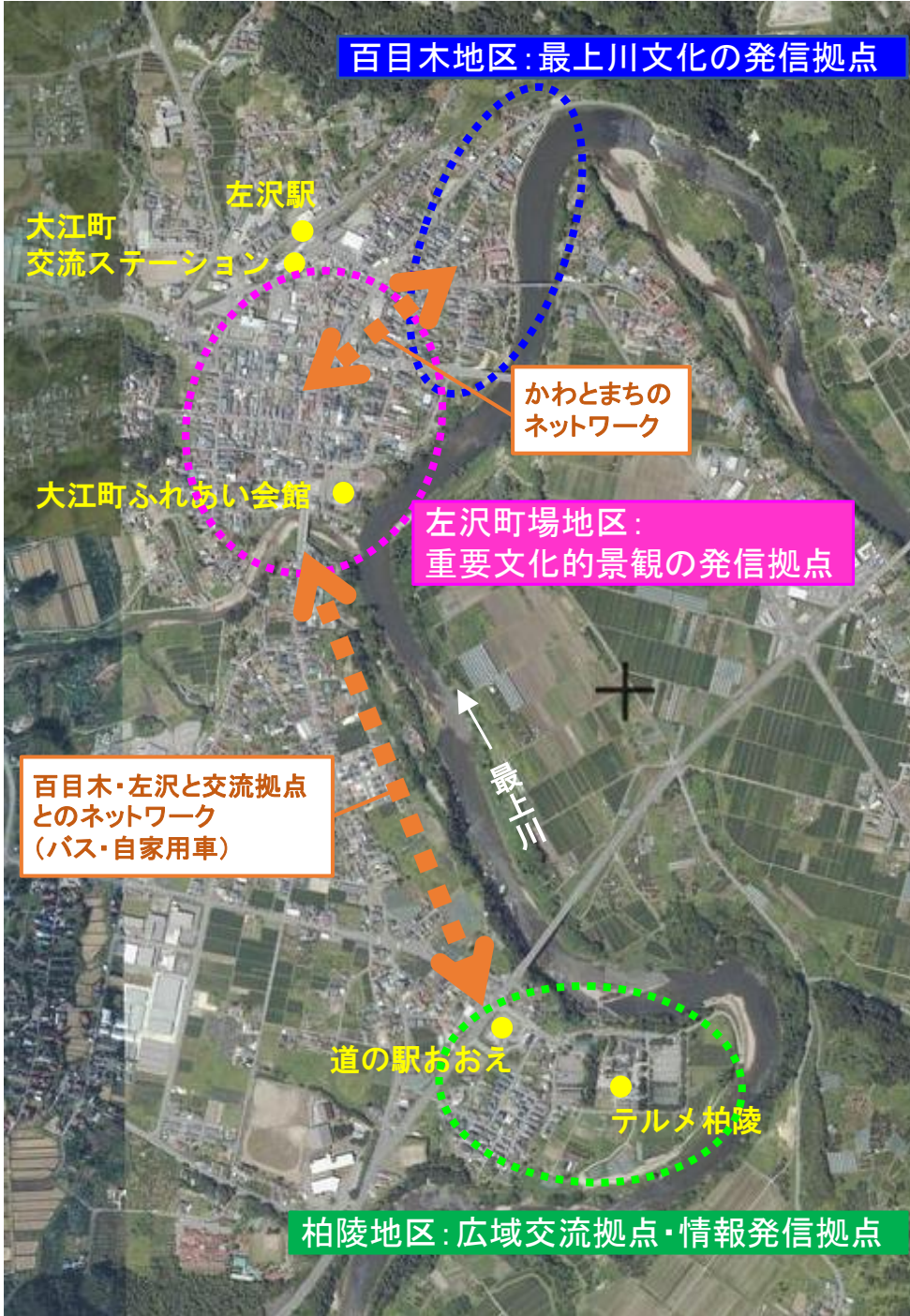
水郷大江夏まつり灯ろう流し花火大会 (県内最古の花火大会)



かつて使用されていた小路・階段



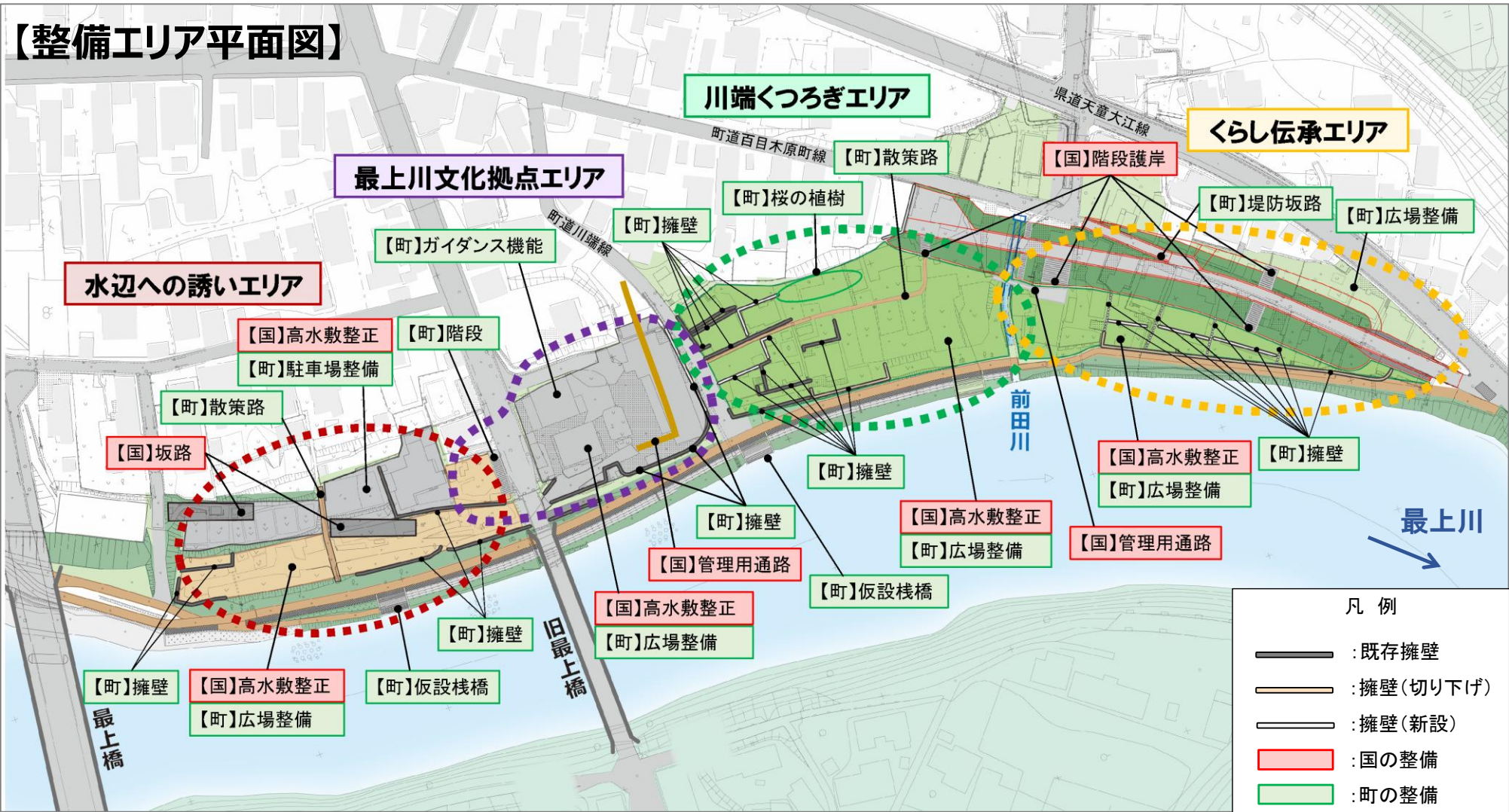
大江町百目木地区かわまちづくりの広域ネットワーク



(地理院タイルに河川情報等を追記)

「最上川の水辺に誇りと賑わいを生み、大江町の歴史文化と記憶を未来へつなぐ」

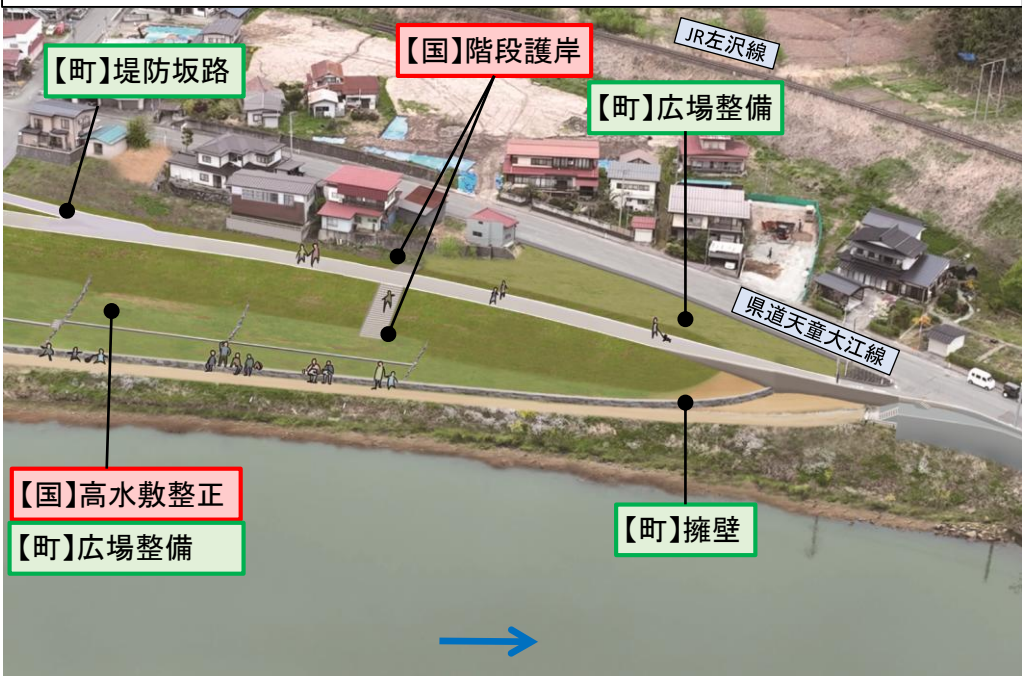
【整備エリア平面図】



※各エリアのスケッチはイメージ図です。

■くらし伝承エリア

かつての住家の区画を伝えながら、日常の利用が可能な空間



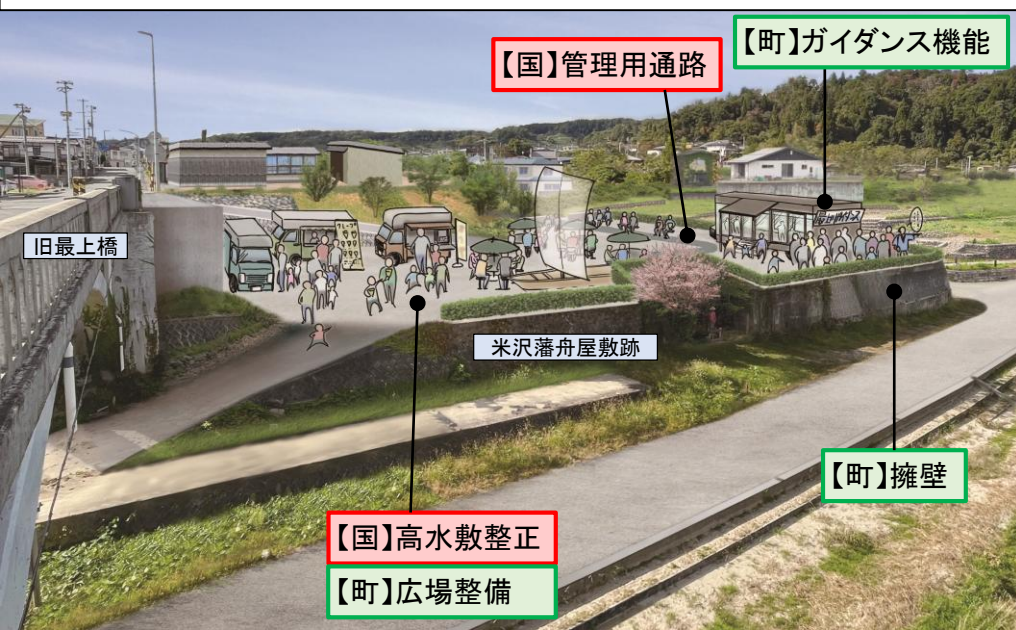
■水辺への誘いエリア

車でアプローチでき、日常的に活用できる空間



■最上川文化拠点エリア

最上川舟運や水害、文化的景観が分かる拠点で、見晴らしの良い立地を活かして観光客が立ち寄り、イベントやキッチンカーが入るマルシェ等ができる空間



■川端くつろぎエリア

川端線沿いのひな壇状になっている暮らしの痕跡を残しつつ、日常的に活用でき、花火大会会場としての活用が可能な空間

